



野鳥 ノビタキ

全長 13cm 夏鳥として日本の高原にやってくる渡り鳥です。翼に目立つ白斑があり、胸はオレンジ色で、だんだんお腹に向かって、淡くなります。喉は黒褐色で、頸の側面と腰は白色。

2023.10.1
ニュース Vol. 266
news

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野昌史
編集責任者:佐藤賢治
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

がんけんかすいしょう

眼瞼下垂症の病態と手術

形成外科：高梨 遼



昨今、眼瞼下垂症が広く認知されるようになり形成外科を受診される患者さんが増えてきました。当院でも2021年に私が赴任してから、眼瞼下垂症の手術件数が増えており、またお陰様で近隣の眼科のクリニックからの紹介もかなり増えております。当法人のスタッフでも同様に手術を希望される方が多くいます。

今回は以前（*1）にも紹介させて頂いた、眼瞼下垂症の病態と手術に関してお話します。

眼瞼下垂症の原因として生まれつきのものや別の病気が原因のこともあります。長年のコンタクトレンズ装用や加齢などにより瞼を開ける筋肉が弱ってしまう場合が多いです。つまり「年をとればだれでも起こりうる病気」とも言えます。

まぶたを持ち上げる際にはまつ毛の生え際近くにある「けんばん」という硬い板と、それに付着する「筋肉(眼瞼挙筋(がんけんきょきん))」が付着しております。この付着が緩んだり、筋力が弱くなったりすることで、自分がまぶたを持ち上げようとしても思うように開かなくなる病態が眼瞼下垂症だと言われております。

眼瞼下垂症になると、眼瞼挙筋が弱まり、開(かい)瞼(けん)(目をあける)機能が落ちると、知らず知らずのうちに眉毛をあげることでこの代替をしようとしてしまいます。眉毛をあげる筋肉はおでこにある筋肉であるため、筋肉の収縮の結果、「おでこのシワ」が目立ったり、それでも十分にまぶたが開かないため、「眠たそうな目」と言われたりすることもあります。

その他の症状としては、「視野が狭くなる」、

意外なところでは「頭痛」や「肩こり」などの症状も、実は眼瞼下垂症が原因だという場合も少なくありません。

眼瞼下垂症を治療する方法は手術一択になりますが、局所麻酔で行うため体に大きな負担がかかることはありません。通常はふたえの線を利用して切開し、緩んでしまった眼瞼挙筋の位置や長さを調整して、しっかりまぶたを引き上げられるようにします。この操作は微細な調整が必要となりますので、もともと顕微鏡での血管吻合(ふんごう)等の微細手術を得意とする形成外科が担当することがほとんどです。

治療には医療保険が適応となり、3割負担でおおよそ4万～5万円程度です。

ご自身だけでなく、ご家族ご友人で、「最近おでこのシワが気になる」、「眠たそうな目をしている」、「視界が狭まり車の運転がし難くなった」、「頭痛、肩こりが酷い」等の症状を訴える方がいらっしゃいましたら眼瞼下垂症が原因かもしれないので、お気軽に形成外科までご相談下さい。

形成外科では今回ご紹介した眼瞼下垂症以外にも、全身を対象とした幅広い疾患を担当しており、機能的にも整容的にも患者さんに十分に満足をして頂けるような治療を提供するように心がけております。

*1：とうめいニュース2021年12月号「まぶたのお悩み（眼瞼下垂について）」に掲載。当院ホームページで閲覧可能です。